

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	地域保健活動普及等経費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	がん対策・健康増進課地域保健室		地域保健室長 政田 敏裕		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-10-1 地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域保健を担う機関の役割分担と連携を推進し、サービスの受け手である生活者個人の立場に立った地域保健対策の推進を図るため、地域保健対策の啓発普及、保健活動に関する事業の実施等、地域保健活動の充実強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	個々人の主体的な健康づくりへの取組を支援するための医療保険者との連携や、新たな健康課題に的確に対応できる保健活動の体制強化、特定保健指導機関における評価制度の実施に向けて検討等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	23	20	15	14	14	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	23	20	15	14	14		
	執行額	19	10	11				
執行率(%)	82.6	50	73					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	市町村保健師数			人	20,260	21,295	集計中	対前年以上
			達成度	%	100	100	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域保健対策検討会等検討会の開催回数				4	6 (-)	2 (-)	— (-)
単位当たりコスト	469(円/成果実績)		算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度市町村保健師数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	1					
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	1	1					
	庁費	9	9					
	社会保障関係情報化業務庁費	2	2					
	計	14	14					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	個々人の主体的な健康づくりへの取組の支援等の体制強化を行っており、地域保健活動の充実強化を通じて質の高い保健サービスの提供を図るため、国民のニーズのある事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	個々人の主体的な健康づくりへの取組の支援等の体制強化を行っており、地域保健活動の充実強化を通じて質の高い保健サービスの提供を図るため、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	国民に質の高い保健サービスの提供を図るための体制強化に資するものであり、優先度の高い事業である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	保健師活動領域調査の実施について一般競争入札による選定を実施するとともに、当該調査分析業務に関しては、地方行政の動向等に専門性が高く、行政保健師の動向等に精通している必要があることから、企画競争を実施した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札による支出の抑制等によりコストの削減に努めており、妥当な水準である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本経費は、保健活動の体制強化等に伴う会議開催等に係る経費であり、実情に応じて適切に執行する。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札により不用が生じた。		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	本経費は、地域保健を担う機関の役割分担と連携を推進し、サービスの受け手である生活者個人の立場に立った地域保健対策の推進を図るため、地域保健対策の啓発普及、保健活動に関する事業の実施等、地域保健活動の充実強化に資するための経費であり、国民の健康の保持増進につながるものである。また、24年度は各点検項目において妥当であり、成果、実績も達成されているため、適切に執行された。今後更に効率的な執行を図る必要がある。					
	外部有識者の所見					
引き続き適切執行に努めること。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	本経費については、恒常的に不用が生じている状況であるが、地域保健の充実強化に必要な経費であることから、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	297	平成23年	0271	平成24年	0235

平成24年度

厚生労働省
11百万円

地域保健対策の啓発普及のため地域保健対策の推進に関する検討、研修の実施、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討などの事業を実施

【企画競争等】

A. 民間企業(2社)
3百万

保健師活動領域調査集計・分析業務

【随意契約】

B. (株)日本能率協会総合研究所
1百万円

特定保健指導実施機関における内部評価に係る評価者要請事業の実施

その他、省内で使われる旅費、庁費等である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	保健師活動領域調査分析業務	2.5			
計		2.5	計		0
B.株式会社 日本能率協会総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	評価者要請事業の実施	1.0			
計		1.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社	保健師活動領域調査分析業務	2.5	随意契約	
2	東水戸データサービス(株)	保健師活動領域調査集計等業務	0.8	14	12%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本能率協会総合研究所	特定保健実施機関における内部評価に係る評価者要請事業の実施	1	随意契約	